



6 月下旬発売！

句集 凡そ君と

およそきみと

小滝 肇 著

新たな挑戦を続ける精鋭作家、
待望の第一句集！

- ◎“死とは、生を得た時から寄り添う、いわば「隣人」のようなもの”——幼い頃からこの「隣人」の存在を感じてきた著者が、心に孤独を抱えながらも、自然を詠み、人間を詠み、いのちの賛歌を奏でる。
- ◎建築家としての美意識と感性で、鮮やかなイメージとともに詩情を湛えた 278 句を収録。
- ◎誰も詠まないところを捉えた不思議な魅力と個性に満ちた注目の処女句集。

春蟬のはじめは声とならぬほど
凡そ君と分かり合へぬまま梅雨に入る
初雪が空折れ曲がるあたりより
遠火事を見てをり妻となる人と

著者紹介◆小滝 肇（こたき はじめ）
昭和 30 年、広島市生まれ。平成 16 年「春耕」に入会し、22 年「銀漢」
創刊同人。現在は俳誌を離れ、結社の枠を超えて作句活動を続けている。



定価：本体 2600 円＋税
四六判 上製本 164 頁
装丁：奥村靱正

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRC より全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。（了解者 JRC 後藤）

ご注文 申込書	貴店名・帳合	注文数 冊	発行 朔出版 電話・FAX 03-5926-4386
			句集 凡そ君と 小滝 肇 著 四六判 / 上製本 / 164頁 / 定価: 本体2600円＋税
			ISBN978-4-908978-14-2 C0092